

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院救命救急センターでは、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：QaaSシステム高度化によるドクターヘリ搬送患者の情報共有システムの 検討及び実証に関する研究

1. 研究の概要

QaaS (コース)システムとは、「救急 as a Service」の略から作成した造語で、延岡市が令和4年度にデジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)を活用し構築したものです。具体的には、個人の健康診断結果などを管理するアプリ(ウィズ・ウェルネス) 救急搬送時のトリアージを支援するシステム(Join トリアージ) 救急搬送時の患者に関する情報を病院と救急車などで共有するシステム(Join) 救急モビリティ(救急車・ドクターカー)の選定・運航経路等を支援するシステムの4つから構成されます。このうち“Join”とは、PACS(医療用画像管理システム)などと連携し、チャットなどを用いて医療スタッフ間で必要な医療情報を共有することで診療を支援するアプリのことで、すでに医療機関内や関連する医療機関との患者情報の提供、救急隊から医療機関への傷病者情報の提供など多彩な状況下で活用されています。セキュリティも認められており保険収載もされているシステムです。そしてこれらのシステムを連携して活用することで救急搬送時の搬送時間の短縮、迅速な受入、スピーディーかつ適切な医療処理を図っているところです。今回の研究では、このQaaSシステムの1つである、救急搬送時の患者に関する情報を病院と救急車などで共有するシステム(Join)をドクターヘリに応用し、現場救急隊や宮崎県立延岡病院救命救急センター(搬送元医療機関)、ドクターヘリフライトスタッフ、そして宮崎大学医学部附属病院救命救急センター(搬送先医療機関)との間で情報共有をはかることが可能かどうか、そしてこのシステムを用いることが、現場救急隊並びに受け入れ先医療機関での活動の迅速化につながるのかを、実際に事案に対応した当事者にアンケート調査を行うことにより検証を行うものです。

本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学医学部病態解析医学講座救急・災害医学分野 落合 秀信

【主任研究者】

宮崎大学医学部病態解析医学講座救急・災害医学分野 長野 健彦

【研究分担者】

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 松岡 博史

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 川名 遼

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 佐々木 朗

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 齋藤 勝俊

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 畠中 健吾

2. 目的

本研究は、令和4年度に延岡市が「データ連携基盤と次世代モビリティを活用した“救急”サービス」事業において構築した「救急 as a Service 事業 (以下 QaaS 事業) を高度化し、宮崎ドクターヘリと現場救急隊もしくは転院元、転院先医療機関とのあいだでの QaaS システムを用いた情報伝達が可能かどうか、そしてあればそれが救急現場もしくは受け入れ先医療機関における救急活動の迅速化につながるかどうかを検証することを目的として行われます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から2026年3月31日まで

4. 対象者

研究機関の長による実施許可日から2026年1月31日までに、延岡市消防本部管内で発生した救急事案で、119番通報によりまず救急隊が対応し、ドクターヘリが現場出動した事案、もしくは宮崎県立延岡病院救命救急センターへ救急搬送された後に担当医が高次医療施設への転院が必要と判断し、ドクターヘリが転院搬送を行った事案に関係された患者様並びに医療従事者の皆様を対象となります。

5. 方法

医療従事者の方々には、別紙のアンケートへのご協力をお願いします。患者様につきましては、現場救急隊もしくは宮崎県立延岡病院救命救急センター、宮崎大学医学部附属病院救命救急センターより以下の情報を利用させていただき、これらの情報をもとに本システムの救急活動の迅速化における有用性を検討します。

本学における情報の管理責任者

宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野 教授 落合 秀信

本研究で利用する情報の内容

- ・延岡市消防本部より：
事案の発生時刻、事案の概要、消防覚知時刻、救急隊現着時刻、救急隊傷病者接触時刻、ドクターヘリ要請時刻、救急隊現発時刻、救急隊ランデブーポイント到着時刻。
- ・宮崎県立延岡病院救命救急センター：
転院となった患者の診断名、重症度 (SOFA score、APACHE score、ISS、rTS、TRISS PS)、患者の病着から転院決断までの時間、転院決断からドクターヘリ要請までの時間、初期診療開始からドクターヘリによる傷病者搬出までの時間

・宮崎ドクターヘリフライトドクター：

ドクターヘリ要請時刻、基地病院離陸時刻、現地到着時刻、現地離陸時刻、搬送先病院到着時刻、現場救急隊や搬送元医療機関との情報交換に要した時間、事前情報と搬送開始までの状態の変化に関する情報収集の可否、搬送時傷病名

・宮崎大学医学部附属病院：

最終診断名、重症度 (SOFA score、APACHE score、ISS、rTS、TRISS PS)、病着から入院もしくは処置 (手術、IVRなど) 開始までの時間、転帰 (GOS-E)。

6．費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7．利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9．研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10．研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する講座の運営費で賄われます。

ただし本研究は、延岡市から一部機器の無償提供を受けているため、利益相反は発生しますが、研究者が所属する機関の規程等に基づき、この研究の公正な実施に影響が出ないよう配慮いたします。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部病態解析医学講座 救急・災害医学分野

氏名 落合 秀信

電話：0985-85-9547

FAX：0985-85-9105